

平成 2 9 年 度 事 業 計 画

我が国は、少子高齢化が進み労働者人口の減少や地域社会の活力低下など、社会経済全般にわたり深刻な影響を及ぼすことが懸念されているなかで、高年齢者の就労意欲は高く、労働力人口に占める高年齢者の割合や就業率は近年上昇を続け、就業ニーズも多様となっています。

奥多摩町においても、総人口に占める高齢者の割合が48%を超え高齢化が進行していますが、当シルバー人材センターは、発足以来高年齢者が長年培ってきた豊かな経験や知識を生かし、住民のニーズに応え活力ある地域づくりに貢献してきました。

しかしながら、センターの現状は、会員数の減少や就業形態の多様化などにより厳しい運営状況にありますが、今後も安定した事業運営を図り会員が就業を通して生きがいつくりや健康増進、地域社会の活性化など、より一層貢献していくことが求められています。

平成29年度も引き続き就業機会の確保・拡大及び会員の確保・教育が急務と捉え、ホームページの充実や会報「シルバーおくたま」、町広報誌などを活用し、就業機会の拡大や安全就業の徹底、会員の確保など会員・役職員が一丸となって活力ある地域づくりに取り組んでまいります。

1. 基本方針

- (1) 会員に適した就業機会の開拓と独自事業の推進を図る。
- (2) 会員の就業に関しての普及宣伝と新規会員の確保を図る。
- (3) 自主・自立を目指した事業運営の推進を図る。
- (4) 会員の就業に関する技能・知識の向上を図る。
- (5) 共働・共助の事業理念の浸透を図る。
- (6) 会員の安全就業対策の推進を図る。
- (7) 社会奉仕活動に積極的に参加する。

2. 事業実施計画

(1) 就業機会の開拓・提供

役員・職員が、会員と共に普及活動を行い就業機会の確保及び就業分野の開拓に努める。

- ① 高齢者に適した仕事を幅広く受注するため、官公庁、町内事業所、一般家庭への訪問等、あらゆる機会を通じ開拓に努める。
- ② 未就業会員に対する就業機会の拡大、共働・共助の観点から公平かつ安全な就業ができるように努める。
- ③ 活動拠点施設を活用し、就業機会の拡大や新規会員の確保等を図る。
- ④ 労働者派遣事業の実施について、関係機関と協議し事業所の設置手続等を進める。
- ⑤ 農産物の栽培や販売を促進し、会員の生きがいつくりと農業の振興を図る。

(2) 普及・啓発

シルバー人材センター事業の普及に努め、広く関係者などへの理解と支援を得るため、次のような広報活動を行う。

- ① 会報「シルバーおくたま」を定期発行し、町内全世帯、関係団体に配布することにより、事業の普及や会員の確保に努める。
- ② ホームページや町広報誌を活用し、センター事業の普及、拡大を図る。
- ③ 町や関係団体が主催するイベントに積極的に参画し、事業の普及啓発と会員の確保に努める。

(3) 自主・自立の事業活動の推進

事業の基本理念である会員による自主的・主体的な組織活動の

強化を図る。

- ① 定期的に理事会及び各委員会を開催し、センター事業の推進を図る。
- ② 役員・職員が一丸となって、(公財)東京しごと財団及び東京シルバー人材センター連合第6ブロック組織センターとの情報交換等を積極的に行い、事業活動の効率化に努める。
- ③ 職群別グループを育成し、お互いの連帯感及びローテーション等の調整と就業環境の改善を図る。

(4) 調査・研究

適正就業の推進及び就業機会の開拓・拡大、センター事業の健全な運営を図るため、各種調査・研究を行う。

(5) 相談

会員確保を図るため、高齢者の就業相談及び入会説明を随時実施する。

(6) 研修・講習会

就業機会の拡大を図るための就業に必要な技能の習得や、知識の向上、事業運営の充実や組織活動の促進を図るため、各種研修会等を実施する。

- ① (公財)東京しごと財団等で実施する役職員研修会及び会員技能研修会等に参加し知識の向上、技能の習得に努める。
- ② その他、必要に応じた研修、講習会を随時実施する。

(7) 安全就業対策の推進

会員の安全就業の確保と、魅力あるセンター活動を推進するため、必要な事業を実施する。

- ① 7月「安全就業強化月間」を設定し、安全就業に対する周知と、就業現場の巡回指導体制を充実し、安全就業を推進する。
- ② 会報「シルバーおくたま」に事故防止等のPR記事を掲載する。
- ③ 安全就業推進大会、研修会等に参加する。
- ④ 安全就業基準の周知徹底を図る。
- ⑤ チラシ・リーフレット等により安全就業の徹底を図る。
- ⑥ 身元確認のため、会員証を携帯するよう入会時に徹底する。

(8) 社会奉仕活動

文化活動・地域活動に積極的に参加し、地域貢献活動の推進を図る。